

緑 風

矢嶋 翼・岩田 典一・木村 司
竹田 秀泰・板谷 良久

☆総務委員会 新しい苦小牧市総合



岩田典一 議員

☆生徒の通学力バンが重すぎ、体の負担になっている。学校側はこれの問題視せず、この点を改善すべきとの質問に、国も軽い教科書作りを進めており、可能な限り工夫すると答弁がありました。



矢嶋 翼 議員

☆新しい市民ホール建設検討の中で、市民から63の事業アイデアが出され、現在の市民会館でも取り組める事業もあるので今から実施してはとの質問に、プレ事業として検討すると答弁がありました。

☆昭和47年製作の科学センター外壁の谷内六郎氏原画の硝子タイルモザイク画が崩れてきており、修復や将来の保存の道筋を考えるべきとの質問に、教育部内で検討すると答弁がありました。

☆12月の議会改革検討会では、苦小



木村 司 議長

牧市議会として、制定を目指している苦小牧市議会基本条例について議論を続けました。前文は地方自治の置かれた現状などを踏まえた議会としての役割とその役割を踏まえた苦

「地域のふくし力」が広がることを期待しています。

計画(素案)が示され、人口減少と少子高齢化が同時に進む時代に、ふくしのまちづくりは大変重要であると考えます。私は、「ふくし」を進めるには、地域ボランティアとの協働が大切であると思いい、この基本構想の施策の中で、ボランティアの位置づけについて質問しました。質問に対し市は「活動者の自主性を尊重したボランティアの発掘・養成に努めると共に、ボランティア団体や、NPO法人の活動を支援し、各種ボランティアとの協働作業で地域ふくしの担い手となる協働パートナーとしての位置づけを明記した」と答弁がありました。

☆小学校の英語授業増に対する考え



竹田秀泰 議員

☆保育園待機児童対策について質問し、計画整備を行い31年度までに1・2歳児の待機児童解消に目途がつくと答弁がありました。

☆小学校の英語授業増に対する考え方を質問し、30年度に外国語指導助手1名を増員予定と答弁がありました。

☆特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向に対する考え方を質問し、30年度に特別支援教育支援員3名の増員計画と答弁がありました。

小牧市議会の目指すべき姿・決意を市民の皆さんに示すものであります。素案を正副議長案としてお示しし、検討を重ねました。また、全体像の骨格である、体系図についても各会派の案と内容を含め検討をし、制定・施行までのスケジュールについても議論をしました。

2月議会には、前文をお示しすることが出来ると思ひますし、体系図・スケジュールなども固まってくるものと考えております。

☆緑ヶ丘公園のスポーツ施設運営期



板谷良久 議員

☆IIR(統合型リゾート)投資意向調査の進捗状況について質問し、29年度中には苦小牧市IIRマスタープランの素案が提示されることが明らかになりました。

☆緑ヶ丘公園のスポーツ施設運営期間とゲートの開閉がリンクしていないことを指摘し、市はスポーツ施設と公園施設の管理を一元化することについて検討することが明らかになりました。

☆老朽化が著しく、不便な場所に設置されているスケートボード場を、現在廃止されているハイランド屋内リンクに移設し、跡地を駐車場とすることを提案し、市は公園全体の利用計画の中で検討していくことが明らかになりました。

☆都市公園法改正により、公募設置管理制度が新設され、緑ヶ丘公園や出光カルチャーパークにレストランなどが、民間の力で建設できるようになり、市の考え方を質問し、検討を始めていくと答弁がありました。